

礼拝説教要旨

2011年6月12日  
赤江弘之牧師

『ほかの羊も導かなければ』  
ヨハネ10：11～16

はじめに

良い牧者を知っていますか？

羊に仕える

「人の子が来たのが、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであるのと同じです。」

(マタイ20：28)

羊を養い育てる

「主は私の羊飼いです。私は、乏しいことはありません。主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。」

(詩篇23：1、2)

「盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。」

(ヨハネ10：10)

羊のために命を捨てる

「わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。」

(ヨハネ10：11)

「それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同様です。また、わたしは羊のためにわたしのいのちを捨てます。」

(ヨハネ10：15)

ほかの羊も導く牧者！

「わたしにはまた、この囲いに属さないほかの羊があります。わたしはそれをも導かなければなりません。彼らはわたしの声に聞き従い、一つの群れ、ひとりの牧者となるのです。」

(ヨハネ10：16)

世界に「一つの群れ」の牧者

大祭司による預言

「ところで、このことは彼が自分から言ったのではなくて、その年の大祭司であったので、イエスが国民のために死のうとしておられること、」

(ヨハネ11：51)

主イエスの祈り

「わたしは、ただこの人々のためだけでなく、彼らのことばによってわたしを信じる人々のためにも願います。それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにいますように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおるようになるためです。そのことによって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるためなのです。」

(ヨハネ17：20、21)

使徒パウロの教え

「その奥義とは、福音により、キリスト・イエスにあつて、異邦人もまた共同の相続者となり、ともに一つのからだに連なり、ともに約束にあずかる者となるということです。」

(エペソ3：6)

エペソ2：11～22

聖なる公同教会（使徒信条）

むすび

地の果てにまで

使徒の働きを受け継いで！私に何ができるでしょうか？